

十和田風力開発株式会社がお届けする

風のおたより

2026年9月

Vol.8



今回の内容

- ①『地域のみなさとつながる2日間』…… P.2,3
～「とわだまるっとフェス」初出展レポート～
- ②(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業概要 …… P.4

ごあいさつ

(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の事業地である十和田市にお住いの皆さんへ向けて、『風のおたより』をお届けいたします。

本おたよりでは、地球温暖化や再生可能エネルギー、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の背景について取り上げるほか、これまで寄せられた懸念やご質問に対する事業者の取り組みや方針についてもお伝えしてまいります。座談会では、

各号のテーマに関係する方をお招きし、テーマに即した情報をお届けいたします。

なお、本おたよりの内容に関するご感想やご意見は、裏面に記載の弊社HP内にある「お問い合わせフォーム」へお寄せいただけますと幸いです。

いただいたご意見は、次回以降のおたよりや今後の参考とさせていただきます。

とわだ
まるっとフェス

初出展
レポート

『地域のみなさまと つながる2日間』



とわだ
まるっとフェス
延べ412名
の方が来場!

2026年7月4日・5日に開催された「とわだまるっとフェス」に、十和田風力開発株式会社として初めて出展しました。

当社ブースでは、「再生可能エネルギーのPR」として再生可能エネルギーや風力発電をもっと身近に感じていただけるよう、お子さまから大人まで楽しみながら学べる体験型企画を用意しました。

今回実施したのは、

- ・お子さまが楽しめる「輪投げ」
- ・風車内部やナセル^{※1}上部からの景色を体験できる「VR体験^{※2}」

※1 ナセルは風力発電機の上にある発電機等が入った箱のような部分を指します。(P3に図解で示しています)

※2 VRとは、「Virtual Reality」の略で、日本語では一般的に仮想現実と呼ばれます。

簡単に言うと、ゴーグルなどを使って、まるでその場にいるような映像や空間を体験できる技術です。

- ・再生可能エネルギーや風力発電に関する「クイズパネル」
- の3つのコーナーです。

企画段階から「ただ見るだけではなく、実際に体験することで記憶に残る内容にしたい」という思いを大切にしながら、準備を進めました。

その結果、2日間で延べ412名もの方々にご参加いただき、当初の想定を上回る大盛況となりました。輪投げ196名、VR体験103名、クイズ113名、と、多くの皆さまにブースを楽しんでいただくことができました。特に、輪投げの景品で用意した「風車(かざぐるま)」は、2日間とも途中でなくなり、配布終了になるほどの人気でした。

大人気だった「輪投げ」

輪投げコーナーでは、小さなお子さまでも気軽に参加できるよう工夫し、成功した回数に応じてシールと風車(かざぐるま)をプレゼントしました。会場では、「風車(かざぐるま)嬉しい!」といった元気な声があちこちで聞かれました。

中には「昨日も来て楽しかったから、今日も来ました」というお子さまや、何度も挑戦してくれるお子さまたちもあり、ブースの前には絶えず笑顔が広がっていました。

特に印象的だったのは、年齢を問わず楽しんでいただけたことです。幼稚園児はもちろん、1歳のお子さまも挑戦し、ご家族で応援する微笑ましい光景も見られました。再生可能エネルギーをテーマにしたブースでしたが、まずは「楽しい」という体験を通じて当社を知っていただく良い機会になったと感じています。



【輪投げコーナー】

1歳のお子さまから幼稚園児、ご年配の方まで世代を超えてご家族で盛り上がる様子が見られました。

本当に風車に登ったような「VR体験」

VRコーナーでは、風車のタワー内部やナセル上部からの景色をVRで体験していただきました。普段は立ち入ることのできない風車の内部を体験できることもあり、多くの皆さまが興味を持って参加してくださいました。

体験後には、「エレベーターみたいで面白い」「怖いけど楽しかった」などの感想が寄せられました。

また、小学生のお母さまからは、「風車(ふうしゃ)の上に上がりたいと息子が言っていたので、こうして体験ができて嬉しい」という声もいただきました。

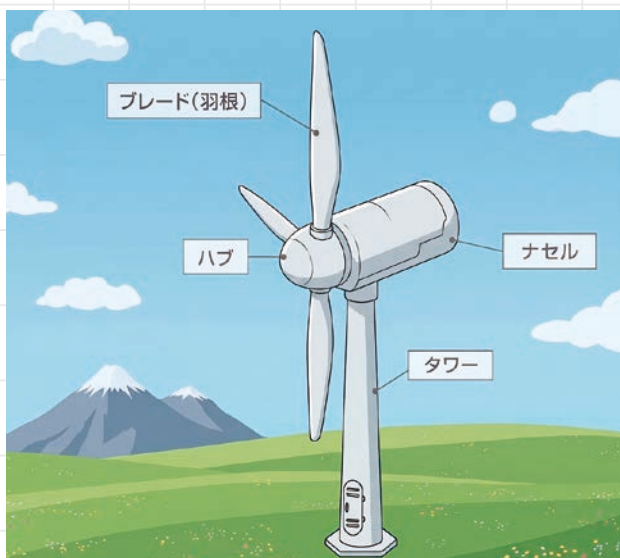
さらに、「こんな高い所で作業している人がいてすごいですね」「タワーの中はどうやって登るのですか」といった質問もあり、単なるアトラクションとしてだけでなく、風力発電設備やそこで働く人々への関心につながっていることを実感しました。

中には「昨日、絵日記に書いた」というお子さまもあり、VR体験が強い印象として心に残ったことがうかがえました。



【VR体験】

「昨日、絵日記に書いた」というお子さまもあり、VR体験が強い印象として心に残ったことがうかがえました。



「クイズ」をきっかけに広がった対話

クイズコーナーでは、「再生可能エネルギーとは」「風力発電がたくさんある都道府県」「風車のタワー内部はどうなっているのか」をテーマに問題を出題しました。参加者の皆さまからは、「小学生でも楽しめた」「少し難しかったけれど勉強になった」といった声が寄せられました。

特に印象的だったのは、地元の中学生との会話です。風力発電事業について話した際、「十和田の発展につながるのであれば、応援したいです」という声をいただきました。

一方で、風力発電に対して不安や疑問を持つ方からのご意見もありました。道路整備や森林伐採への懸念についてご意見をいただいた際、一つ一つの疑問に丁寧にお答えしながら、ご意見を伺い、事業者の考えを説明いたしました。

また、「風力発電機を見たことがない」「(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業のことを知らなかった」という声も複数あり、地域の皆さまへ継続的に情報をお届けしていくことの大切さを改めて感じる機会となりました。

生まれた新たなつながり

今回の出展を通じて改めて感じたのは、地域の皆さまと直接お話しできる機会の大切さです。

風力発電に関心を持ってくださる方、初めて知った方、賛成の気持ちを持つ方、少し不安を感じている方。それぞれの思いや疑問に耳を傾けながら対話を重ねることで、私たちも多くの学びを得ることができました。そして何より、お子さまたちの笑顔や、「また来たい」「楽しかった」という言葉が、今回の出展の大きな成果だったと感じています。

当社では、これからも「風のおたより」を通じた情報発信はもちろん、地域の皆さまと直接ふれあう機会を大切にしながら、再生可能エネルギーへの理解促進と地域との信頼関係づくりに取り組んでまいります。

初出展となった「とわだまるっとフェス」は、私たちにとって地域との新たなつながりを実感した2日間でした。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

図解でわかる!「風車の仕組み」主要4部材

ブレード(羽根): 風のエネルギーを受け止め、回転する力に変えます。
ナセル: 上部の箱状構造物。内部に発電機や増速機など発電の中核装置が格納されています。

ハブ: ブレードと中心軸を結びつける接合部です。

タワー: ナセルやブレードを高い上空で支える頑丈な支柱です。

とわだまるっとフェスについて

7月4日、5日の2日間にわたり、「とわだまるっとフェス2026」が開催されました。十和田商工会議所によると、本イベントは2024年にスタートし、今回で3回目の開催となります。

開催のきっかけは、2024年の新紙幣発行です。新一万円札の肖像となった渋沢栄一は、三本木原の開墾事業や渋沢農場の開設に携わるなど、十和田市と深いゆかりがあります。こうした歴史的なつながりを背景に、十和田を盛り上げることを目的として本イベントが始まったとのこと。

イベントのテーマは「健康で安心・安全なまちづくり」。子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まり、楽しみながら交流できる場をつくること、そして地域経済の活性化につなげることを目的として開催されています。



今年は昨年の30店舗を上回る34店舗が出店し、飲食や物販、体験コーナーなどさまざまなブースが並びました。また、十和田市の特産品である「にんにく」の魅力を発信するブースや、市内事業者の商品を紹介する「とわだの逸品」ブースも設けられ、多くの来場者で賑わいました。

今回初めての企画として、クラシックカー展示とボディメイクコンテストも実施されました。会場には多くの来場者が集まり、写真撮影や見学を楽しむ姿が見られました。



ステージイベントでは、幼稚園児によるダンスや小学生による合唱、カラオケ大会など、16団体が出演し、会場を盛り上げました。

来場者は、1日目が約5,000人（昨年約3,500人）、2日目が約8,000人（昨年約5,000人）となり、2日間合計で約13,000人が来場したとのこと。昨年と比較すると、およそ1.6倍の来場者数となり、多くの人で賑わうイベントとなりました。

（十和田商工会議所からの情報）

十和田商工会議所では、地域の魅力発信や交流の場づくりを目的として本イベントを継続しており、年々規模も拡大しています。地域のさまざまな団体や事業者が参加することで、十和田の魅力を再発見する機会にもなっているとのこと。

（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業概要

①計画概要

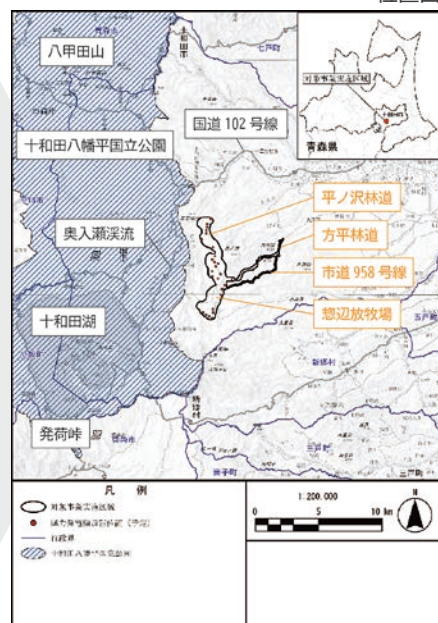
風力発電所総出力：最大 109,200kW
風力発電機出力：4,200kW
設置予定基数：最大 26 基

②事業経緯

2018年：計画開始（事前調査および風況調査準備）
2019年：風況観測開始（風況観測塔設置）
2020年：配慮書縦覧（環境影響評価法に基づく）
2021年：方法書縦覧・住民説明会実施（環境影響評価法に基づく）
2022年：第1回中間報告会を開催・現況調査（動植物・景観等）実施
2023年：第2回中間報告会を開催
現況調査を踏まえ周辺環境への影響を予測評価
2024年：第3回中間報告会を開催・風況観測完了
2026年：第4回中間報告会を開催

※第4回中間報告会（2026.3）時点の計画です。
引き続き、県共生条例等を踏まえて事業計画を多角的（周辺環境への配慮等）に検討してまいります。

位置図



発行 発行 発行

十和田風力開発株式会社

〒034-0012 青森県十和田市東一番町4-37

TEL 0176-58-0090

HP（お問い合わせ先）：<https://towadawindpower.jp/>



※ご意見や感想につきましては、HPのお問い合わせまでお願いいたします。
なお、お問い合わせフォームへの正確な情報のご提供に協力をお願いいたします。